

産学協働プログラム 「人生 100 年時代の都市・インフラ学」 中間講評会

2021 年 5 月 25 日（月） @東工大 デジタルホール／ Zoom 同時開催

【コメントシート チーム 2】

野原先生

多様性がキーワードにあるのに目が行きます。
空間・インフラは人を動かし規定してゆく面があるので、多様性を担保する設計のようなものは興味深いです。

真野先生

自分のチームなのでコメントは省きます。
グラデーション／パラレル／自由な個人などがキーワード。

浅輪先生

ご発表をいただきありがとうございました。パラレルとマルチステージで、グラデーションのように働いて行くことができるというのは面白い発想と思いました。パラレルで仕事を行えるというのは、 $1 + 1 = 2$ ではなく、それぞれに相乗効果（シナジー効果）があるというイメージでしょうか？ サブの仕事がメインの仕事にも好影響を与えるというような話があると、面白いかと感じました。

室町先生

パラレルに仕事を進めていくというのは同じ組織に属してではなく、異なった組織に複数属してということと思われますが、仕事の個人化、ユニット化が進展するということでしょうか。それは組織の大規模化を促すスケールメリットが失われていくことを意味するようにも思え、関連する部分も含めて非常に面白そうな展開があるように思えます。

鼎先生

大変興味深いご発表ありがとうございました。
現状としては日本の場合、子育て絡みの負担はほぼ全て女性にかかっているとのことですので、男女共同参画的なこと、あるいは子育ての中でどのように豊かに働くかについて、ぜひ今後の議論の一端に加えていただければと思います。

- ・グラデーションのあるステージ移行という考え方は面白い。
- ・働き方と仕事の関係が今ひとつわからない。
- ・「働き方」には変化があるけど、「仕事」にも変化はあるのか？
- ・ワーケーションとか、「地方」での働きがどう絡んでくるのか、楽しみ。